

先生方への相談窓口や 実践校同士の事例共有会・情報交換会等を
無料でご提供するパートナー制度(登録制)を開設しています。
校則見直しのご状況にあわせて、ぜひご活用ください！

サポート内容① 校則見直し活動の進め方に関する無料相談

見直し検討中の学校向け

担当の先生方からの、校則見直しの進め方に関する個別相談を無料で受け付けています。さらにパートナーに限定で公開される専用サイトを準備中。校則見直しを進めるうえで役立つヒントを得ることができます。



時間帯:平日10時~19時
※コミュニケーションツール「slack」を使用

<相談内容(例)>

- ・生徒の活動の進め方全般に関する相談
- ・学校内外での共通理解のつくりかたに関する相談 等

サポート内容② 全国生徒交流会・教員交流会へのご招待

プロジェクト開始後の学校向け

全国で校則見直しに取り組む学校・担当教員をつなぐオンライン教員交流会や、生徒が参加する学校づくりに関するオンライン勉強会を行っています。

また年2回ほど、生徒同士のオンライン交流会も開催しています。
校則見直しに取り組む全国の仲間に出会い、活動のモチベーションUPに繋がっています。



▲全国生徒交流会の様子



▲先生同士の事例共有会の様子

サポート内容③ 外部講師・コーディネーターの派遣

プロジェクト開始後の学校向け

校則見直し実践に関わった経験のある民間人材や、子どもの権利・校則問題に詳しい弁護士等を、各校の希望に合わせてご紹介しています。※一部有償

<外部講師活用例>

- ・弁護士による「ルールの本質」に関するレクチャー(教員研修)
- ・コーディネーターによる通年での校則見直し実践の伴走(生徒活動)等



校則／ルールの見直しを通じて対話的な問題解決力を育成する
「みんなのルールメイキングプロジェクト」
 学校向けご案内資料

学校の「当たり前」は、みんなで変えられる

生徒の身近なルールである「校則」に着目し、
「決められたとおりに従う」のではなく、生徒が中心となり、先生や関係者と対話しながら校則・ルールを見直していく取り組みを実践しています。
 立場や意見の違う人たちと、**対話から納得解をつくるプロセス**を大切にしています。
 そうした経験を通して、**身の回りの課題に気づき、当事者意識をもって行動する力や、社会参画への意識を高めていくこと**を目指しています。



みんなのルールメイキングプロジェクトが目指すもの

ルールメイキングは、「今、若者たちに求められる学び」に多角的にアプローチする教育プログラムです。カタリバでは、教育行政・学校現場と連携し、ブラック校則是正を目指すのではなく、**校則見直しを題材に、自らの生きる環境を主体的に切り開くために必要な能力の育成**を目指しています。校則見直しによる教育効果は注目を集めており、経済産業省「未来の教室」の実証事業にも採択されています(2019・2020・2021年度)



社会に意欲を持ってない日本の若者

(単位: %)	自分は責任がある社会の一員だと思ふ	自分の行動で、国や社会を変えられると思ふ	国や社会に役立つことをしたいと思ふ	政治や選挙は、自分の生活に影響すると思ふ	政治や選挙、社会問題について、関心がある	政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている
日本	48.4	26.9	61.7	60.9	50.0	42.1
アメリカ	77.1	58.5	73.0	64.0	51.7	68.5
中国	77.1	70.9	82.1	70.1	66.1	73.3
韓国	65.7	61.5	75.2	69.5	61.3	61.1

日本財団18歳意識調査「国や社会に対する意識6カ国比較」より抜粋

【当事者意識】

全員が当事者である「校則」を題材にすることで、校則に紐づく様々な社会課題を自分事化する機会を作ります。

【自己効力感】

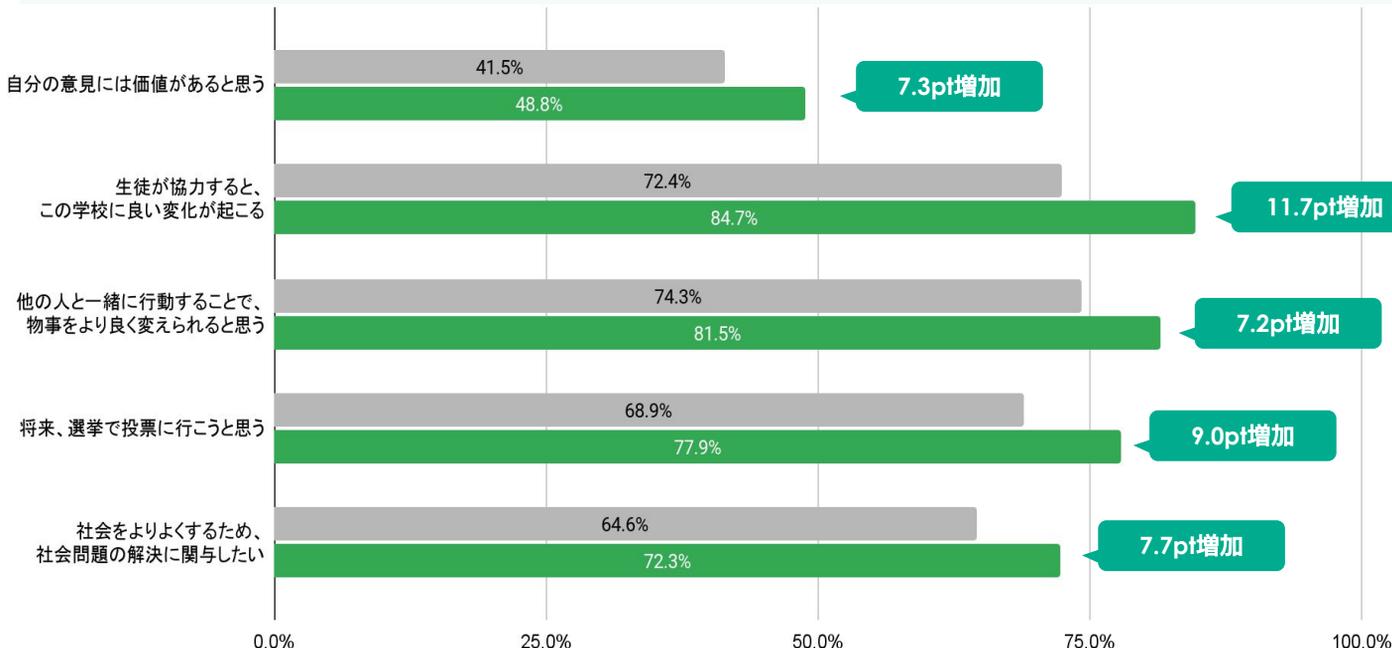
自分の身の回りのルールを、自ら作る経験を通じて、「社会は変えられる」という自己効力感が芽生えます。

【課題発見力】

校則見直しを通じ、他者が抱える問題に気付いたり、「当たり前」に思っていた状況への問題意識を持つことができます。

プロジェクト前後の生徒への意識調査

ルールメイキングプロジェクトに参加した生徒には、**自己肯定感や自己効力感、社会参加意識、当事者意識**が上がる調査結果が見られました。「みんなのルールメイキング」では、ルールメイキングという新しい学びを全国の学校に届けることを通して、日本社会が抱える課題解決に貢献します。



出典：安田女子中高(広島県)ルールメイキング事前・事後アンケート 数値：4件法による肯定的回答(そう思う/まあそう思う)の割合
事前調査：2020年5月 事後調査：2021年6月

ルールメイキングに参加した生徒の声 *2021年度3月実施 実践校生徒インタビューより



「最初のほうって全然自信がなくて、自分の意見はあっても言ったら否定されるだろうと思っていたが、言ってみたらコーディネーターに「それいいね」と言ってもらえることが思ったよりも多くて、やってみる、言ってみる、って大切なんだと思った」 < **自分の意見に対する自信の高まり** >



「自分の意見を通したい性格だったけれど、色んな人から意見を聞いたら、自分が知ってる範囲以上の知識を得られました。そういう考えもあるんだなど、心の許容範囲が広がったと思うことが増えました。」 < **他者への寛容さ** >



「自分達で学校をより良い方向へ変えていく事ができるんだという感じました。もしルールメイキングプロジェクトに自分が参加していなかったら、自分達で動けば少しでも学校は変えられる！という実感を持てなかったと思う。」 < **身の回りに対する効力感** >



「課題に直面することが多かったけど、だからこそあきらめずに粘り強く試行錯誤してゆくことが自分にとっては良い経験になったと思う。大人相手でも恐れなくて対等な会話をするのがこれからもできるといいなと思う。」 < **粘り強さ、チャレンジへの意欲** >

ルールメイキングに参加した先生方の声 *2021年度3月実施 実践校先生インタビューより



「校則見直しの必要性を感じつつも、どこから進めればよいのかわからず、外部のサポートを受けたいと思い、参加しました。ルールメイキングに取り組んだことで、生徒たちが以前よりも自信をつけて、主体的に動けるようになったほか、教員の考え方や学校全体の雰囲気も大きく変わりました。生徒に対して、説明のつかない指導をする必要がなくなり、生徒や保護者との信頼関係も良好になりました。」



Step.1 課題設定

対話のマインドセットを行ったうえで身の回りに目を向け、見直したい校則・ルールを決定します。



Step.2 情報収集

多様な関係者から情報を集めながら、具体的なルール変更の提案をつくります。



Step.3 提案・見直し

新しいルールを提案し、全校へ周知します。変更されたルールに問題点はないか振り返り、次の見直しにつなげます。

ポイント

異なる意見を排除するのではなく、多様な他者の意見に耳を傾けながら、学校内外の複数の立場を取り入れて納得解をつくっていきます

ポイント

自分の意見にも価値があると思える経験を通して、**もっと社会に関わりたいと思う意識を育てます**

プロジェクトを通じて、生徒の声を取り入れながら見直しが進んだ校則(一例)

髪型のルール

- ・ツブブロック規定
- ・前髪の長さ規定
- ・結び方の規定
- ・地毛申請書の廃止 等



服装のルール

- ・制服の見直し
- ・着用期間の見直し
- ・学校指定品の見直し
- ・下着の規定の廃止 等



学校生活のルール

- ・放課後・休日の立ち寄り規定
- ・スマホの持ち込み規定
- ・おかしの持ち込み規定
- ・アルバイト規定 等



実践事例を詳しく知りたい方へ

実践校事例インタビュー(記事)
校則見直し・ルールメイキングを
実践している生徒・先生にスポットを
当てたインタビュー記事です。



▲アクセスはこちらから

校則見直しに取り組んだ先生のリアルな声はこちら

ルールメイキング「先生のお悩み相談室」(動画)

「校則・ルールの見直したら、学校が荒れてしまうのではないかな?」「周りの先生からの理解を得るためには?」など、先生の不安や悩みについて、3名の先生にお答えいただきました。



▲アクセスはこちらから



みんなのルールメイキング事務局では、

校則見直しに取り組む学校への支援を行っております!

詳細は、別添をご覧ください

事業概要

みんなのルールメイキングプロジェクト



RULE MAKING



みんなのルールメイキング
公式サイトはこちら

生徒の身近なルールである「校則」に着目し、「決められたとおりに従う」のではなく、生徒が中心となり、先生や関係者と対話しながら校則・ルールを見直していく取り組みを実践しています。

2019年にスタートし、2020年度より経済産業省「未来の教室」実証事業に採択されています。

<パートナー・先進事例校一覧> 全国52校が参加(2022年5月時点)



団体概要

認定特定非営利活動法人カタリバ

未来は、つくれる。

KATARIBA

Shape the Future

全ての10代に意欲と創造性を

どんな環境に生まれ育った10代も、未来を自らつくりだす意欲と創造性を育める社会を目指し、2001年から活動する教育NPOです。高校への出張授業プログラムから始まり、2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組んでいます。

実施事業(一部抜粋)

- 人生のロールモデルと語るキャリア教育プログラム(全国)
- 東日本大震災被災地の放課後学習支援(宮城県女川町・岩手県大槌町)
- 高校生の探究学習支援(全国)
- 中高生の放課後ユースセンター運営(東京都文京区)
- 災害時の子ども学習支援(全国)
- 高等学校への探究学習推進職員派遣(島根県雲南市・岩手県大槌町・福島県双葉町)
- 貧困世帯の子ども学習支援(東京都足立区)
- オンライン不登校支援プログラム(全国)
- 校則見直しを通じた生徒参加による学校づくりの支援(全国) 等



認定NPO法人カタリバ
公式サイトはこちら

